

★キラリ治田★



デジタル機器を活用した児童会長のプレゼンテーションと全校投票で決定した五十周年を記念する「言葉」です。長野県書写書道研究会会長 坂田和弥先生に揮毫していただきました。高学年児童玄関に掲額いたしました。

開校 50 周年式典挙行。50 歳おめでとう。∞50 年ありがとう。
開校当時の関係者の願い、原点を見つめ直し、未来を見つめて、共に命を磨き続ける年

桑原小学校と稲荷山小学校が合わさって出来た、「治田小学校」が、50 歳になったというお祝いの式を、長坂元樹委員長を中心とした 50 周年記念事業実行委員会の皆様のおかげをもちまして、盛大かつ厳粛に行うことができました。(当日の概要は 10/14 付で 50 周年記念事業事務局より発行の別紙「**Haruta50**」No.5 を参照願います)。式典終了後の 5.6 時間目にかけて、併催されていた地元の水彩画家 待井亮造先生の展覧会「**善光寺街道 400 年 17 宿歴史旅画集の原画の一部 44 作品展**」(会期 10/6~12/17)を鑑賞する時間を確保しました。一人、絵と向き合って待井先生の絵の鑑賞をする 3 年生の姿が印象に残りました。近づいてみると、「今どきの」タブレットを持って、絵の感想を打ち込んでいました。彼が見つめていた絵は、善光寺街道ゴール直前の「御本陣藤屋旅館」でした。



絵の作者である待井先生は 88 歳になられました。先生は昨年まで「戸隠古道」を描くテーマ制作に取り組みまれておられました。寝ても覚めても絵を描くという「夢」。素晴らしい生き方ではないですか。近々(来年の御開帳に合わせて)「ギャラリー82」で展覧会を開催されるそうですので、今から先生の絵を鑑賞するのが楽しみです。先生は更なる壮大な夢を描いていて「北国街道」も描きたいとのこと……。夢に向かって一歩ずつですね。



学校の隣接敷地には水田や果樹園が広がります。学校では貸与いただいている大・中・小・最小と連なる4枚の棚田で、5年生が水稻栽培に取り組みました。代掻き、田植えから水の管理を経て半年、10/8（金）に稲刈りを行いました。秋晴れの下、学年の保護者の皆様の協力も得て、努力の实りを学年の仲間とともに実感した日となりました。

感染拡大防止のため中断していたクラブ活動再開

異学年で構成され、部分的に外部講師のお力もお借りしている「クラブ活動」は、感染警戒レベルを注視して運営して参りました。今年も、第3回（9/2）を中止とするなど、計画の実行については厳しい状況が続いていましたが、感染警戒レベルが下がったことから、中断していた活動を第4回（9/30）より再開しました。開設された11の講座の中から、児童自らが希望選択して行う、いずれも実践的な活動です。残すところ11/4（木）の第6回が最終回となっています。※写真はバスケットボール・クラブのゲーム中のシュート場面、実験クラブのペットボトル・ロケットの発射場面。



早くも「卒業記念写真」を撮影しました。

残暑厳しかった秋も、めっきり冬の到来を予感させるような秋となってきました。10/13（水）には、卒業記念写真撮影が行われました。6年生にとっては卒業までの登校日数も100日を切り、明日の午後には西中学校の体験入学を行います。次のこと、未来のことを考えて、「今」を充実させていかななくてはなりません。

